

授業の概要

歯冠修復技工学において、解剖学的な基本形態と機能的な補綴装置等を製作するために必要な知識について学修する。

- 教科書：最新新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）
- 参考資料：プリント配付
- 授業時間：金曜日 18:50～19:35
- オフィスアワー：木内 浩子 (kiuchi.hiroko@nihon-u.ac.jp) 金曜日 16:00～17:00
- 成績評価：定期試験(80%)と平常試験(20%:10%×2回)前期と後期の合計で評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：講義には必ず教科書を持参し、必要事項はノートに記録すること。
- 授業方法：板書とスライド、プリントを使用して講義を行う。第5・11回時に平常試験と解説を実施する。
- 準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
- 実務経験：小峰 太：歯学部附属歯科病院の経験をもとに、歯科医師の立場から口腔内で機能させる補綴装置を製作させるための理論や特徴を講義していく。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月12日 木内 浩子	1. 歯冠修復技工学の概要 (教)pp. 1-2	・ 歯冠修復技工学の意義と目的について説明できる。
第2回4月19日 小峰 太	2. 臨床的価値 (教)pp. 2-4	・ 実際の技工，患者症例を通して，歯科技工士と歯科医師との関わりを説明できる。
第3回4月26日 木内 浩子	3. クラウンの概要と種類 1) クラウンの概要 2) 歯冠修復物と部分被覆冠 (教)pp. 5-7	・ クラウンの意義，特徴および用途を説明できる。 ・ 部分被覆冠の種類と特徴を列挙できる。
第4回5月10日 木内 浩子	3. クラウンの概要と種類 3) 全部被覆冠 4) 継続歯（ポストクラウン） (教)pp. 8-10	・ 全部被覆冠の種類と特徴を列挙できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第5回5月17日 木内 浩子	3. ク라운の概要と種類まとめ (教) pp. 1-10 「平常試験」① (10%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ク라운の概要と種類について総合的に学ぶ。 ・ 第1回～5回までの講義内容を再確認し、理解度を深める。
第6回5月24日 木内 浩子	4. ブリッジの概要と種類 (教) pp. 11-15	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブリッジの特徴を列挙できる。 ・ ブリッジの構成要素を説明できる。 ・ ブリッジの種類を説明できる。
第7回5月31日 木内 浩子	5. ク라운とブリッジの具備要件 1) 生物学的要件 (教) pp. 17-32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物学的要件を説明できる。
第8回6月7日 木内 浩子	5. ク라운とブリッジの具備要件 2) 構造力学的要件 (教) pp. 27-32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造力学的要件を説明できる。
第9回6月14日 木内 浩子	5. ク라운とブリッジの具備要件 3) 化学的要件 (教) pp. 33-36	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学的要件を説明できる。
第10回6月21日 木内 浩子	5. ク라운とブリッジの具備要件 4) 審美的要件 (教) pp. 36-40	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審美的要件を説明できる。
第11回6月28日 木内 浩子	1. ～5. のまとめ (教) pp. 5-40 「平常試験」② (10%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ク라운とブリッジの概要と種類、具備要件について総合的に学ぶ。 ・ 第6回～11回までの講義内容を再確認し、理解度を深める。
第12回7月5日 木内 浩子	6. ク라운とブリッジの製作 1) 臨床ステップの概要 2) 印象採得 (教) pp. 41-47	<ul style="list-style-type: none"> ・ ク라운とブリッジの製作順序を説明できる。 ・ 印象材の種類と特徴を列挙できる。 ・ 印象方法を説明できる。 ・ 研究用模型の使用目的を学ぶ。 ・ 印象用トレーの種類と目的、製作法を説明できる。
第13回7月12日 木内 浩子	6. ク라운とブリッジの製作 3) 研究用模型 4) 印象用トレー (教) pp. 47-51	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究用模型の使用目的を学ぶ。 ・ 印象用トレーの種類と目的、製作法を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第14回7月19日 木内 浩子	6. クラウンとブリッジの製作 5) 支台築造 (教) pp. 52-57	<ul style="list-style-type: none"> 支台築造の意義と目的と製作法を説明でき、種類と使用材料を列挙できる。
第15回7月26日 木内 浩子	前期の復習	<ul style="list-style-type: none"> 前期の講義内容を再確認し理解度を確認する。